

◆ 弁護士相談  
12月5日(金) } 午後1時半～  
◆ 社労士相談 } 支部まで  
◆ 法人設立相談 } お問合せ  
◆ 税務記帳相談 } 下さい

※いずれも支部へ電話で予約してください。

# 和大山 村

発行者  
東京土建一般労働組合  
村山大和支部  
武藏村山市中央3-7-1  
電話 042(563)3261  
発行責任者 白倉良道

東京土建村山大和支部ホームページ <http://www.murayamayamato.jp> 東京土建 村山大和支部 検索

9月、10月と続いた仲間を増やす行動月間。2か月の奮闘を終え、最終結果は支部目標69人に對して、76人と7人の超過となり、春の月間に続く全分会目標達成となりました。今月間では、高い市町村国保から土建国保への乗り換えを検討する仲間へ、説明・訪問対話し成果を積み重ねて行きました。終盤、事業所の数が伸び悩み、分会の超過が不可欠な状況でした。が、早々に分会目標を達成した分会も最後まで行動を続け、各分会が一丸となつて支部目標達成に向けて動き続けました。達成まであと一息となつた行動最終日。事業所よりCCUSの登録のため外注の職人全員を組合に入れたいとの要求で一気に8人が加入し、見事76人の超過達成となりました。

▼安倍元首相に近い  
とされる高市首相が  
誕生した。動向を見  
てみると、給付付き  
も議論し、早急に実現を目指  
すと言つてはいるが、困窮にあ  
えぐ国民には待つたナシの状  
況が分かっているのか疑問  
だ。とりあえずはガソリン税  
の暫定税率の廃止が年内中に  
決まりそうだ。そうなれば今  
の170円から158円ほど  
で落ち着く見込みだ。いずれ  
にしても減税で手取りが増え  
れば物価高の負担が和らぐ。  
▼景気対策に関しては一時的  
な対策ではなく、将来を見据  
えた経済成長に繋がる政策を  
期待する。2025企業倒産  
が過去最高で業種別で見ると  
我々、建設業で5938件前  
年から6・5%増加となつて  
いる。要因は人件費高騰、資  
材高騰が背景にある。物価高  
の波が目の前まで来ているこ  
との証左であろう。事業主も  
厳しい状況にあるが、労働者  
の生活も依然厳しい。新首相  
には労働者の待遇改善にも目  
に向けて、国民皆が繁栄する  
社会へ、舵かじを取つてくれるこ  
とを切望する。

カレッジでは伝統的な大工実技の学習がとても大切だと考えているため、手道具使いから学ぶ大工実技実習がカリキュラム全体を貫く大きな柱です。建築の本質を学ぶことができるからです。オープンキャンパスの体験授業「枘（ほぞ）と枘穴の加工。土台と柱のミニチュアをつくる」では、カレッジ教育の特徴を知ることができる内容となって

## 10月の労災事故件数

村山大和支部における労災事故件数は、一人親方3件、事業主1件でした。

災害 状況	●転落・墜落…1件 ●転倒…1件 ●動作の反動…2件
労災事故には保険証が使用できません。未加入者に あたるは、労災保険の加入を呼びます。	

東京建築カレッジ（以下、カレッジ）は来年4月入学生を募集中です。全2年間、約240日に及ぶカレッジの授業で何が学べるのか、実技実習授業体験も

次回は12月7日(日)、江東実習場でおこないます。参加は10人まで。定員になり次第申し込みを締め切ります。

オーブンキャンパスの参考  
加申し込みもこちらからどうぞ。電話のお問い合わせ  
にも応じます。

# 東京建築カレッジ

## 12/7

### 2026年4月入学生募集

#### オープンキャンパス 授業を体験できる

カレッジについてもつと  
知りたいと思う方は、ホー  
ムページをご覧ください。  
左記のQRコードか、「東  
京建築カレッジ」とネット  
検索！

# 私印青齋

---

No.364

私は中学一年の時は花小金井からこの東大和に引っ越しました。子供の頃は非常に活発で、サッカーや野球等あらゆるスポーツに励み身体を動かしていました。学校の部活動ではハンドボールをやつしていました。色々な競技をやりましたが、その中で一流

## 今見る、未来へ

大和南分会 松木 純 (左官)  
に喜んでも  
にか自分にさ  
なつていまし  
は遅いし…。  
さんに褒めこ  
で、そんな苦  
今  
は自分が  
仕事の「やり  
継者（若いこ  
昔気質の職人  
く、漁



自分の腕、技術に誇りを持ち、お客様に喜んでもらえる仕事をすることがいつの間にか自分にも身に付いて、そこに拘るようになつていきました。汚れるし、朝早いし、帰りは遅いし…。それでも仕上がった仕事をお客様に褒められること、喜んでもらえることで、そんな苦労は吹つ飛んでしまいます。

今は自分が中心になつて会社を運営しなければならない状況となりましたが、この仕事の「やりがい」を従業員やこれから後の後継者（若い子）に繋ぎ、会社と共に成長し、昔気質の職人でありつづけられるように、強く、楽しく、元気でいたいと思つています。若者が少なくなつている業界ですが、この思いをできる限り伝えていきたいです。

